

Top Message

代表取締役社長 有末 真哉

平素より、私ども三井生命をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび、平成27年度の業績をはじめとする当社の現状について取り纏めたディスクロージャー誌「三井生命の現状 2016」を作成いたしました。本誌を通じて、当社へのご理解を一層深めていただければ幸いです。

まず、ご挨拶に先立ち、平成28年4月に発生した熊本地震で被災された皆さまに、謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

このようなときこそ生命保険会社としての社会的使命を果たし、お客さまの信頼に応え、ご安心をお届けできるよう、より一層、努力してまいります。

さて、平成27年度のわが国経済は、輸出・生産面に新興国 経済の減速の影響で一部弱さが見られましたが、企業収益 や雇用・所得環境が改善する中で、設備投資に持ち直しの動 きが見られ、個人消費が底堅く推移するなど、緩やかな回復 基調が続きました。

生命保険業界におきましては、国内生命保険市場は、この数年間緩やかに拡大しておりますが、人口減少や少子高齢化の影響、情報技術の進化などによりお客さまのニーズは多様化し、販売経路やアフターサービスの方法も大きく変化しており、各社が新商品の開発やお客さま向けサービスの充実に取り組む動きが見られます。また、銀行窓販、来店型店舗、インターネット専業会社といった販売チャネル間の競争や営業職員チャネルをメインとした国内生保会社間での競争も激しくなっております。

このような環境下、当社では、中期経営計画(平成27年度 ~平成29年度)に掲げる三つの柱である、①「営業職員によるサービス体制の拡充・強化」、②「強みとなる分野づくり」、③「業務の効率化と固定費削減によるコスト効率の改善」に取り組んでまいりました。

具体的には、お客さまと直接対面する営業職員およびサービスパートナーの採用・育成のレベルアップに取り組むとともに、タブレット型情報端末『ミレット』の機能を拡張し、対面によるコンサルティングサービスの向上を図りました。また、お申込書類のペーパーレス化の範囲を拡大し、お客さまのお手続きにかかる負担を軽減したり、一部先進医療給付金を医療機関宛に直接お支払いすることで、お客さまの一時的な費用負担や送金手続き等の負担を軽減したりするなど、お客さまサービス・利便性の向上に努めました。

その他にも、『未来メッセージ』と名付けた新しいサービスの取扱いを開始いたしました。これは、契約者さまから保険のご加入に際しお預かりした「家族への想い」や「家族への感謝の言葉」といったメッセージを、将来、保険金等を受取人さまにお支払いする際にお届けすることで、経済面だけでなく、精神的な面からもお役に立ちたいとの想いからはじめたサービスです。

保険商品面においては、平成28年4月から、多様化するお客さまの保障ニーズやライフスタイルの変化にしっかりと「よりそう保険。」をコンセプトとした新しい主力商品「大樹セレクト」を発売しました。おかげさまで発売後3カ月間で申込件数が約5万件となるなど、たいへんご好評をいただいております。その他にも、外貨建個人年金保険「ドリームフライト」における、お子さまの学資資金ニーズにお応えする取扱いの開始、まとまった資金の運用ニーズにお応えする一時払の外貨建養老保険「ドリームロード」の発売など、更なる商品ラインナップの充実を図りました。

これらの取組みの結果、新たにご加入いただいたご契約のボリュームの指標である新契約年換算保険料や、既にご加入いただいているご契約からの保険料等収入につきましては、前年度に比べ増加いたしました。また、生命保険会社の健全性を示す指標であるソルベンシー・マージン比率につきましても、前年度末と比較して上昇するなど、一定の成果を収めることができました。

一方で、当社は、今後も成長し続けていくために提携・統合等も含めた様々な選択肢の検討を進めました。その結果、当社と日本生命保険相互会社は、各社単体では応えきれないお客さまニーズに、グループー体となって機動的・柔軟に対応していくことを目的として、経営統合いたしました。今後は、当社と日本生命は相互に協力し、両社のシナジーを発揮することで、お客さまサービスの更なる向上を図りながら、グループとして成長することを目指してまいります。

当社は平成29年3月に創業90周年を迎えます。長きに亘る皆さまのご愛顧に感謝申し上げるとともに、今後とも、お客さまの「BESTパートナー」として、生命保険会社の社会的使命を全うし、全てのステークホルダーの方々に安心を提供できる生命保険会社となるよう、役職員一同努めてまいりますので、皆さまからの一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成28年7月